

新しい学問と教育

名前 _____

_____ 月 _____ 日

今日の問い

江戸時代の中ごろから、どのような学問や教育が広がったろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 どのような新しい学問が生まれたか。

国学・蘭学・解体新書

古典を研究し、仏教や儒教が伝わる前の日本人の考え方を明らかにしようとする

1 _____ がおこり、2 _____ は「古事記伝」を書いて大成した。オランダ語で西洋の学問を学ぶ3 _____ もさかんになり、4 _____ らは「解体新書」を出版した。5 _____ は全国を測量して、正確な日本地図をつくった。

2 教育はどのように広がったか。

庶民は寺子屋・武士は藩校

6 _____ が開かれ、庶民の子どもが7 _____ など、くらしに役立つことを学んだ。諸藩は人材を育てるため8 _____ をつくり、武士の子どもに9 _____ や武芸を学ばせた。

年表 — この単元のできごと

1774

杉田玄白らが「解体新書」を出版する

1798

本居宣長が「古事記伝」を書き上げる

1800

伊能忠敬が蝦夷地の測量を始める

まとめ

今日の問いに答えよう。「国学」「寺子屋」の2語を使って、2文で書きなさい。

☐ 国学と蘭学のちがいがわかる☐ 解体新書を説明できる☐ 寺子屋と藩校のちがいがわかる

できた

/ 9



chiritsumo-drill.com

ほかの プリントは こちら



ちりつもドリル

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

1 / 1

G12-REKI-GAKUMON-NOTE-01